

寛永二十一年本『浄土依憑経論章疏目錄』

小 山 正 文

『浄土依憑經論章疏目錄』<sup>じやうどえひようきやうろんしやうもくろく</sup> 卷は、法然房源空（一一三二—一二二二）の門人で、浄土五流のひとつ諸行本願義九品寺流を立てた覚明房長西（一一八四—一二六六）<sup>かくめいぼうちやうせい</sup> が、編集した浄土教に関するわが国最初の書籍目録である。編者の名をとり『長西録』とも、あるいは略して単に『依憑録』とも呼ばれることが多い。もっとも本日録を長西の編とすることに疑問を挟む向きもないではないが、しかし今日ではその疑念も後人附記のもの以外、すべて長西以前に成立した書目ばかりであること。首題直後に置かれる「欣浄沙門長西録」という作者名の記し方が、昭和初期に金沢文庫より発見された長西撰の『浄土疑芥』や『専雑二修義』等と全く一致している事実などから解消しているといつてよいであろう。

『長西録』の正確な成立時期は不明であるが、中に同門の長樂寺隆寛（一一四八—一二二七）、成覚房幸西（一二六三—一二四七）<sup>じやうかくほうこうさい</sup> の著述も見えるので、およそ鎌倉中期の初め頃すなわち長西七十年代に成ったものと推定してよからう。この『長西録』が出来上って間もない時分の弘長元（一二六一）年七月、百二十七部千二百余巻もの膨大な書物を著したことで有名なかの東大寺凝然（一二四〇—一三三二）も、長西について浄土の法門を聴いた事実が、彼の著書『維摩經疏菴羅記』巻第九に見えているが、博識強記の凝然すら長西に学ぶだけあって、さすが『長西録』の内容はインド・中国・朝鮮・日本の広範囲に及ぶ浄土經論章疏をほとんど網羅しているのである。その掲載総巻数は八百八十二巻で、これを群經録・諸論録・釈經録・集義録・別出録・修行録・讃頌録・伝記録・雜述録・偽妄

録の十部門に分けて載せる。もっともこの部門別は今日から見れば必ずしも適正ではないが、現在では見ることでできない書物も多く、ともかくもって長西の博覧ぶりを十分推知しうるであろう。

スケールの大きいかような『長西録』は、当然爾後の浄土典籍目録類にも大きな影響を及ぼしたわけだが、しかし不思議なことにその古写本には恵まれるものが全くない。もっとも江戸時代の写本や版本によれば、室町時代前期の明徳五（一三九四）年に良実房なる人の写した本が、かつてあった事実は分るも残念ながら現存しない。『長西録』が広く流布するようになるのは、江戸時代前期の寛文二（一六六二）年と同中期の宝永二（一七〇五）年にそれぞれ版本が刊行されて以後のことに属する。それが証拠に今日残る数少ない写本も大概は、その版本からの写しであり、『大日本仏教全書』（大正二年）・『真宗全書』（大正五年）に翻刻される活字本も、これまた版本を底本とするのである。ところがここに紹介しようとする架蔵の『長西録』は、版本以前の寛永二十一（一六四四）年に写された恐らく現存最古本で、版本・活字本の誤脱箇所を補正できる貴重な写本ではないかと考える。

斯本は袋綴一冊本で、縦二六・八センチ、横一八・一センチを計測し、紙数は墨付三十九枚、後筆墨付一枚、白紙三枚の計四十三枚を数える。表紙は享和二（一八〇二）年後補の渋引紙を転用した粗末なものであったが、今は布製に改められており、また全紙に裏打ちも施されたため、現在は面目を一新した本となっている。每半葉九行の行書体で認められ、使用文字の中には異体字や略体字があ

り、まゝ異本との校合も行なわれるが、全巻一筆である。しかしその筆者と書写年月日については、次のような奥書からそれを知ることが可能となっている。

雖為惡筆執心故書写する

後見校合可致者也

松与了生（花押）

寛永二十一年四月一吉日

この奥書は一見本文と筆致を異にするかのようにあるが、それは草書体と行書体の相違のせいであって別筆ではない。これによって該書写本が、三代將軍徳川家光（一六〇四—一五）の寛永二十一年四月一日に松与了生という人によって写されたものであることが分る。この写本が文字通り寛永末年のものであることは、その筆風紙質より推し間違いないも、筆者の了生については知るところがない。本書が写されてから百六十年近くを経過した江戸時代後期の享和二（一八〇二）年八月五日に当本は、兼阿兼耕の有に歸し表紙が付加えられた。第二葉裏に認められる次掲のごとき彼自身の記録からその事実が知られるも、兼耕については了生と同様明らかでないゆえ識者の垂示を切願したい。

兼阿兼耕書

享和二戊戌八月虫干を以表紙綴之

向來見者有之必始写之厚心を問ふ<sup>而</sup>  
頂戴按之

享和二戌年

八月五日

ところでこの寛永二十一年本『長西録』は、次のような事由から寛文二年版や宝永二年版と基本的に同一系統のものと断案してよいかと思う。その第一は書目記載の順序が両者ほとんど一致していること。第二は前記した「本云明徳五年八月一日 執筆良実房」の原本識語が共に見られること。第三は白旗流の「浄土正依経論書籍目錄」を両者共に後へ付していることの三点よりかく考えるのであるが、この事象は結局明徳五年良実書写本『長西録』が、関東で教勢を張った浄土宗白旗派へ流伝し、それが写本・版本・活字本となつて今日に至つたことを示すものであらう。実際『長西録』が白旗流の手を経ている事実は、版本にない「從是西營云」の文字が寛永二十一年本17ウにはっきり写し取られているところからも明瞭といわなければならない。西營とは白旗流第八祖「法然」聖光「然阿」寂恵「蓮勝了実」了營「西營」の増上寺開山大連社西營「聖聰」（一三六六—一四四〇）その人のことである。もともと白旗は鎌倉にあった地名で、派祖の寂恵良暁（一二五一—一三三八）がそこに住んでいたところより流派名となつたわけだが、他方周知のごとく長西の諸行本願義も早くから政治の中心地鎌倉に広まっていた。白旗流がやがて関東浄土宗の主流を占めるようになると、『長西録』も自然に

同流へ取込まれていたものであろう。このように考えてくると明徳五（一二九四）年に『長西録』を写した良実房も、当時二十九歳の西誉にきわめて近い白旗流の人であつたかも知れないし、特に明徳五年は七月五日に応永元年と改元されているにもかかわらず、約一ヶ月後の八月一日になつても良実房が旧年号を使用するのは、都を遠く離れた白旗流の本拠関東で、これが写された可能性の高いことを物語っているように思われてならないのであるが、いかがなものであろうか。

それはともかくとして、主題の寛永二十一年本『長西録』において従来の版本・活字本の欠を大幅に補う箇所を指摘しよう。それは27ウから28オにかけての『相好略頌』以下『略往生講式』までの十三書目と「已上八十五部八十五卷」の一行、および28ウの「讃頌録第七」・「十弥陀偈一卷 善導」の計十六行である。これは版本『長西録』の丁度二ページ分に相当し、しかも非常に重要な部分を含む点で貴重視されなければならない。その重要点の第一は『国書総目録』にも見えない未知の書名が大変多いこと。第二は十三の書目すべてに作者名が付されていること。第三は例えば『光明講式』のごとく従来不明であつた作者が、これによって判明するものがあること。第四は版本では欠落のため分らなかった讃頌録第七の開始位置が確定されたこと等々であるが、特に第三に關し言及しておきたいのは、「報恩講式」一卷 同（隆寛）という記載である。『報恩講式』はいうまでもなく寛如（一二七〇—一三五一）の撰述になるから、けだしこれは『知恩講式』の誤写であらう。とすれば寛永二

十一年本『長西録』の出現により、これまでにも一部出されていた『知恩講式』の隆寛著作者説が、一挙に決定説へと導かれる結果になり大変興味深いものを覚えるのである。

ところで諸行本願義を打立てた覚明房長西（一一八四—一二六六）は、法然房源空（一一三三—一二二二）をはじめ廬山寺の住心房覚瑜（一一五八—一二三三）、泉涌寺の我禅房俊苒（一二六六—一二二七）、曹洞禅の仏法房道元（一一〇〇—一二五三）といった鎌倉仏教を代表する錚錚たる師匠について修学したが、そのことは『長西録』にもよく現われていると思うので摘録してみたい。まず黒谷源空の著作としては『無量寿経釈』（11オ）・『観無量寿経釈』（13ウ）・『阿弥陀経懺法』（15ウ）・『阿弥陀経釈』（15ウ）・『往生要集料簡』（19ウ）・『浄土初学抄』（21オ）・『選択念仏集』（21オ）・『如法念仏懺悔法』（27ウ）・『浄土三部経如法書写作法』（28オ）・『浄土五祖伝』（31ウ）の十点を挙げ、ついで覚瑜のそれとして『略往生講式』（28オ）・『善導和尚類伝』（31ウ）・『釈法忍伝』（31ウ）・『十哲願』（34オ）の四点を掲げ、さらに俊苒のものとして『仏道宗論』（21ウ）・『念仏三昧方法』（28オ）・『勸十六観堂縁起』（34ウ）の三点を載せるが、道元の著作はさすがに見当らない。が、彼の師であつた栄西（一一四一—一二二五）の『出纏大綱』（21ウ）・『観共往生集』（21ウ）・禁西は栄西の誤記かといわれる）を掲出するので、もって長西教義の幅の広さを十分窺知することができよう。ちなみに浄土五流義のうち『長西録』には、鎮西義の聖光（一一六二—一二三八）と西山義の證空（一一一七



七（二二四七）の書目を載せないが、最初にも記したとおり多念義の隆寛（二一四八一―二二二七）と一念義の幸西（二一六三―二二四七）については、それを登載している事実注目したい。この場合幸西は『京師和尚類聚伝』（31ウ）ただ一点であるのに対し、隆寛は『無量寿経四十八願義』（11オ）・『念仏同法要記』（21ウ）・『顕選択』（22オ）・『善導講私記』（28オ）・『報恩講式』（28オ）の五点も掲出するのが注意される。各義のかかる登載書目数は、そのまま長西教義との距離の遠近を計るバロメーターともなる点で、軽視しがたい面があるといえよう。

以上、新出の寛永二十一年本『長西録』をめぐり欲しいままな記述を重ねてきたが、これを機会に今後『長西録』に登載される一点一点の書目内容やその有無などについて、詳しく調査することができればと念じている。



翻刻 寛永二十一年本『浄土依憑經論章疏目錄』

凡 例

- 一、上段に原本の見開き写真を示し下段に翻刻を行なった。
- 二、漢字の字体は原本で使用される旧字・略字・異体字等すべて新字通行体に改めた。
- 三、宛字・誤字はそのままとし、(ママ)を付した。
- 四、片仮名もそのままとした。
- 五、虫食い等で判読できない箇所は活字本を参考にして補った。
- 六、算用数字は丁数を示し、続くオ・ウはその表・裏を示す。

目 次

浄土依憑經論章疏目錄	3
群經錄第一	3
諸論錄第二	3
积經錄第三	9
集義錄第四	10
別出錄第五	17
修行錄第六	22
讚頌錄第七	23
伝記錄第八	28
雜述錄第九	30
偽妄錄第十	32
浄土正依經論書籍目錄	34
法然上人作	36
聖光上人作	37
記主上人作	37
良暁上人作	37
聖岡和尚作	38
西誉上人作	38
聰誉和尚作	39
浄土章疏略頌	40

享和二戌秋八月虫干を以表紙綴之  
 向來見者有之必始写之厚心を問ふ  
 頂戴按之

享和二戌年  
 八月五日

淨土依馮經論章疏目錄後次見治之亂  
 欣淨沙門長西錄  
 群經錄第一 諸論錄第二 群經錄第三  
 集義錄第四 別出錄第五 修行錄第六  
 讚頌錄第七 傳記錄第八 雜述錄第九  
 偽妄錄第十  
 群經錄第一  
 無量壽經二卷上十七下七  
 淨土平等覺經二卷上六下六  
 曹魏康僧鑑識  
 魏帛延記

(3才)

(2ウ)

兼阿兼耕書

享和二戌年  
 八月五日  
 淨土依馮經論章疏目錄後次見治之亂  
 欣淨沙門長西錄  
 群經錄第一 諸論錄第二 群經錄第三  
 集義錄第四 別出錄第五 修行錄第六  
 讚頌錄第七 傳記錄第八 雜述錄第九  
 偽妄錄第十  
 群經錄第一  
 無量壽經二卷上十七下七  
 淨土平等覺經二卷上六下六  
 曹魏康僧鑑識  
 魏帛延記

享和二戌年  
 八月五日

淨土依馮經論章疏目錄後次見治之亂  
 欣淨沙門長西錄  
 群經錄第一 諸論錄第二 群經錄第三  
 集義錄第四 別出錄第五 修行錄第六  
 讚頌錄第七 傳記錄第八 雜述錄第九  
 偽妄錄第十  
 群經錄第一  
 無量壽經二卷上十七下七  
 淨土平等覺經二卷上六下六  
 曹魏康僧鑑識  
 魏帛延記

後漢月氏三藏支婁迦讖事題云說諸仏阿  
彌陀三耶三仏薩樓仏檀過度人道經吳代月  
氏優婆塞

阿彌陀經二卷上下七 吳月氏支謙訳

大梁海量莊嚴經三卷 宋西天三藏法賢訳

大宝積經無量壽會二卷上 宋善提派上訳

已上五經同本異訳 已上五部十一卷

觀無量壽經一卷上 宋薑良耶舍訳西 姚秦羅什訳

阿彌陀一卷上 姚秦羅什訳

淨土經一卷上 唐玄奘訳已上二經同本

淨土三昧經三卷上 失訳

大集賢護經五卷 隋闍那屈多訳

題云佛說般舟三昧經一名十方現在佛悉前

立定經

般舟三昧經三卷上 後漢支婁迦讖訳

跋陀菩薩經一卷上 僧祐録云漢代異訳

大集賢護分六卷上 曇無讖訳

已上五經同本異訳

悲花經第二三卷上 北凉天竺沙門曇無讖訳

(3ウ)

後漢月氏三藏支婁迦讖事題云說諸仏阿  
彌陀三耶三仏薩樓仏檀過度人道經吳代月  
氏優婆塞

阿彌陀經二卷上 吳月氏支謙訳

大乘無量莊嚴經三卷 宋西天三藏法賢訳

大宝積經無量壽會二卷上 宋善提派上訳

已上五經同本異訳 已上五部十一卷

觀無量壽經一卷上 宋薑良耶舍訳西 姚秦羅什訳

阿彌陀一卷上 姚秦羅什訳

淨土經一卷上 唐玄奘訳已上二經同本

淨土三昧經三卷上 失訳

大集賢護經五卷 隋闍那屈多訳

題云佛說般舟三昧經一名十方現在佛悉前

立定經

般舟三昧經三卷上 後漢支婁迦讖訳

跋陀菩薩經一卷上 僧祐録云漢代異訳

大集賢護分六卷上 曇無讖訳

已上五經同本異訳  
悲花經第二三卷上 北凉天竺沙門曇無讖訳

(4才)

大悲芬陀利經第二三卷 世四 失詠

已上二經同本異詠

陀羅尼集經第二第四卷

阿彌陀大思惟經一卷 唐阿地瞿陀詠

鼓音色陀羅尼一卷 失詠

已上二經者陀羅尼集經別詠

灌頂百結神主護身咒經第四卷

灌頂經第十一卷 帛尸黎密多詠

十方隨願往生經一卷 東晉帛尸黎密多詠

灌頂拔除罪生死得度經二卷 宋惠簡詠

藥師如來本願經一卷 隋達磨笈与行明詠

藥師琉璃光如來本願功德經一卷 唐玄奘詠

藥師琉璃光七佛本願功德經二卷 大周義淨詠

已上五經灌頂經別詠

發覺淨心經二卷 隨闍那多詠

彌勒菩薩所問經一卷 大宝積經彌勒所問會

一卷 已上三經同本異詠

普賢菩薩行願經一卷 不空詠

(4ウ)

大悲芬陀利經第二三卷 世四

已上二經同本異詠

陀羅尼集經第二第四卷

阿彌陀大思惟經一卷 唐阿地瞿陀詠

鼓音色陀羅尼一卷 失詠

已上二經者陀羅尼集經別詠

灌頂百結神主護身呪經第四卷

灌頂經第十一卷 帛尸黎密多詠

十方隨願往生經一卷 東晉帛尸黎密多詠

灌頂拔除罪生死得度經一卷

藥師如來本願經一卷

藥師琉璃光如來本願功德經一卷

藥師琉璃光七佛本願功德經一卷

已上五經灌頂經別詠

發覺淨心經二卷

彌勒菩薩所問經一卷 大宝積經彌勒所問會

一卷 已上三經同本異詠

普賢菩薩行願經一卷 不空詠

失詠

唐阿地瞿陀詠

失詠

帛尸黎密多詠

東晉帛尸黎密多詠

宋惠簡詠

隋達磨笈与行明詠

唐玄奘詠

大周義淨詠

隨闍那多詠

唐帝流支詠

不空詠

(5才)

文殊師利發願經一卷三東晉天竺佛陀跋闍識

大方廣佛華嚴經修慈分一卷三般若三藏識

新花嚴經普賢行願品一卷四般若三藏識

太子刷護經一卷五失誤太子和休經同

太子和休經一卷五失誤太子和休經同

太子和休經一卷五失誤太子和休經同

太子和休經一卷五失誤太子和休經同

太子和休經一卷五失誤太子和休經同

太子和休經一卷五失誤太子和休經同

太子和休經一卷五失誤太子和休經同

太子和休經一卷五失誤太子和休經同

太子和休經一卷五失誤太子和休經同

太子和休經一卷五失誤太子和休經同

太子和休經一卷五失誤太子和休經同

太子和休經一卷五失誤太子和休經同

太子和休經一卷五失誤太子和休經同

太子和休經一卷五失誤太子和休經同

太子和休經一卷五失誤太子和休經同

文殊師利發願經一卷三東晉天竺佛陀跋闍識

大方廣佛華嚴經修慈分一卷三般若三藏識

新花嚴經普賢行願品一卷四般若三藏識

太子刷護經一卷五失誤太子和休經同

太子和休經一卷五失誤太子和休經同

太子和休經一卷五失誤太子和休經同

太子和休經一卷五失誤太子和休經同

太子和休經一卷五失誤太子和休經同

太子和休經一卷五失誤太子和休經同

太子和休經一卷五失誤太子和休經同

太子和休經一卷五失誤太子和休經同

太子和休經一卷五失誤太子和休經同

太子和休經一卷五失誤太子和休經同

太子和休經一卷五失誤太子和休經同

太子和休經一卷五失誤太子和休經同

太子和休經一卷五失誤太子和休經同

太子和休經一卷五失誤太子和休經同

太子和休經一卷五失誤太子和休經同

東晉天竺佛陀跋闍識

般若三藏識

般若三藏識

失誤太子和休經同

失誤太子和休經同

失誤太子和休經同

失誤太子和休經同

失誤太子和休經同

失誤太子和休經同

失誤太子和休經同

失誤太子和休經同

失誤太子和休經同

失誤太子和休經同

失誤太子和休經同

失誤太子和休經同

失誤太子和休經同

失誤太子和休經同

失誤太子和休經同

(5ウ)

太子和休經一卷  
大乘同性經二卷

闍那耶舍識

証契大乘經二卷亦名一切法智

日照三藏識

已上二經同本異記

十往生經一卷

請觀音經一卷十

東晉竺難提識

觀音授記經一卷十四

宋法勇識

觀自在菩薩授記經一卷

唐不空識

月燈三昧經十一卷

高齊天竺那建提耶舍識

稱揚諸仏功德經二卷

元魏去迦夜共曇曜識

目連所問經一卷

花手經一卷

(6オ)



優鉢王依佛形像經一卷 失誤  
毘俱胝菩薩一百八名經一卷

家勝心明王經一卷  
烏瑟輪陀羅尼經一卷 法大宋西天三藏

如意輪陀羅尼經一卷 菩提流志記

觀世音菩薩如意輪摩尼陀羅尼經一卷 寶思惟

金剛恐懼集會方廣儀軌觀自在三世最勝明

王經一卷  
不空羼毘盧遮那佛大灌頂光 一卷 不空誤

不空羼毘盧遮那佛大灌頂光 一卷 不空誤

大陀羅尼末法中字心呪經一卷 寶思惟誤

金剛頂瑜伽最勝秘密成仏隨求即得神變加

持戒成就陀羅尼經一卷 不空誤

聖虛空藏菩薩陀羅尼經一卷

救阿難陀羅尼罽口經一卷

虛空藏菩薩問七仏陀羅尼呪經一卷

法華經七卷 羅什誤

三千仏名經一卷 唐菩提流支誤

(7才)

(6ウ)

優曇王依仏形像經一卷 失誤

毘俱胝菩薩一百八名經一卷

最勝心明王經一卷

烏瑟輪陀羅尼經一卷 法大宋西天三藏

如意輪陀羅尼經一卷 菩提流志記

觀世音菩薩如意輪摩尼陀羅尼經一卷 寶思惟

金剛恐懼集會方廣儀軌觀自在三世最勝明

王經一卷

不空羼毘盧遮那仏大灌頂光 一卷

不空誤

誤或不空羼毘盧經第廿八回本誤

大陀羅尼末法中字心呪經一卷 寶思惟誤

金剛頂瑜伽最勝秘密成仏隨求即得神變加

持戒成就陀羅尼經一卷 不空誤

聖虛空藏菩薩陀羅尼經一卷

救阿難陀羅尼罽口經一卷

虛空藏菩薩問七仏陀羅尼呪經一卷

法華經七卷

三千仏名經一卷

羅什誤

唐菩提流支誤

十力胎經二牙四卷

不空訳

無量壽如來儀軌一卷

不空訳

觀自在王如來儀軌一卷

不空訳

尊勝陀羅尼經一卷

唐佛陀波利訳

隨求陀羅尼經一卷

不空訳

菩薩受齋戒經一卷

唐法藏訳

無垢淨光陀羅尼經一卷

唐天祐訳

觀自在菩薩如意陀羅尼經一卷

唐天祐訳

阿利多羅阿魯力經一卷

不空訳

觀世音菩薩秘密藏神咒除破一切惡業陀羅尼經一卷

魏菩提流支訳

佛頂心觀世音菩薩大陀羅尼經三卷

唐伽梵達磨訳

千手陀羅尼經一卷

唐伽梵達磨訳

菩薩內藏經一卷

唐伽梵達磨訳

十一面神呪經一卷

唐伽梵達磨訳

方等陀羅尼經三卷

法衆訳

(7ウ)

菩薩処胎經第二第四卷

無量壽如來儀軌一卷

觀自在王如來儀軌一卷

寶篋印陀羅尼經十卷

尊勝陀羅尼經一卷

隨求陀羅尼經一卷

菩薩受齋戒經一卷

無垢淨光陀羅尼經一卷

觀自在菩薩如意陀羅尼呪經一卷

阿利多羅阿魯力經一卷

觀世音菩薩秘密藏神呪除破一切惡業陀羅尼經一卷

佛頂心觀世音菩薩大陀羅尼經三卷

千手陀羅尼經一卷

菩薩內藏經一卷

十一面神呪經一卷

方等陀羅尼經三卷

菩薩処胎經第二第四卷

無量壽如來儀軌一卷

觀自在王如來儀軌一卷

寶篋印陀羅尼經十卷

尊勝陀羅尼經一卷

隨求陀羅尼經一卷

菩薩受齋戒經一卷

無垢淨光陀羅尼經一卷

不空訳

不空訳

不空訳

唐佛陀波利訳

不空訳

唐法藏訳

唐天祐訳

唐天祐訳

唐天祐訳

唐天祐訳

唐天祐訳

唐天祐訳

唐天祐訳

唐天祐訳

唐天祐訳

唐天祐訳

唐天祐訳

唐天祐訳

唐天祐訳

唐天祐訳

唐天祐訳

唐天祐訳

唐天祐訳

(8才)

大乘莊嚴寶王經第一卷  
 十住斷結經五卷  
 抄吉平等觀門大教王經第四卷  
 佛頂放光明入普門觀察一切如來心陀羅尼  
 下卷  
 不空羂索心呪王經下卷  
 寶思惟呪  
 千眼千臂觀世音菩薩陀羅尼神呪經下卷  
 不空羂索神反真言經第一二三十三十五十六  
 卷  
 大方等無相經第六卷  
 廣太婆樓閣善住慈蜜陀羅尼經下卷  
 大方廣菩薩藏文殊師利根本儀經第十五十八  
 卷  
 無量門破魔陀羅尼經一卷  
 一向出生經菩薩經一卷  
 出生無邊門陀羅尼儀軌一卷  
 已上四卷同本異訳

(9才)

(8ウ)

大乘莊嚴寶王經第一卷  
 十住斷結經五卷  
 抄吉平等觀門大教王經第四卷  
 佛頂放光明入普門觀察一切如來心陀羅尼  
 下卷  
 不空羂索心呪王經下卷  
 寶思惟呪  
 千眼千臂觀世音菩薩陀羅尼神呪經下卷  
 不空羂索神反真言經第一二三十三十五十六  
 卷  
 大方等無相經第六卷  
 廣太婆樓閣善住慈蜜陀羅尼經下卷  
 大方廣菩薩藏文殊師利根本儀經第十五十八  
 卷  
 無量門破魔陀羅尼經一卷  
 一向出生經菩薩經一卷  
 出生無邊門陀羅尼儀軌一卷  
 已上四卷同本異訳

菩提流支訳

寶思惟呪

菩提流支

功德真共玄門

隨闍那崛多訳

已上九十四經百四十三卷

諸論錄第二

無量壽經論一卷

天親造

後漢失記

後出阿彌陀偈一卷

後漢失記

十住毘婆娑論第三卷

龍樹造

羅什訳

菩提心論一卷

同造

不空訳

大乘起信論一卷

馬鳴造

其諦訳

新撰起信論二卷

同造

寶刀難陀訳

已上二論同本異訳

(9ウ)

已上九十四經百四十三卷

諸論錄第二

無量壽經論一卷

後出阿彌陀偈一卷

十住毘婆娑論第三卷

菩提心論一卷

大乘起信論一卷

新訳起信論一卷

已上二論同本異訳

天親造 菩提流支訳

後漢失記

龍樹造 羅什訳

同造 不空訳

馬鳴造 真諦訳

同造 実叉難陀訳

般若訶衍論十卷

龍樹造

跋提摩多訳

宝性論四卷

賢惠并造

天親造

其諦訳

撰大乘論尺論十五卷

天親造

其諦訳

已上十一部百三十七卷

狀經論第三

無量壽經義記一卷

本末六

淨影寺惠遠造

同經疏一卷

嘉祥寺吉蔵造

三論宗金

同經略論淨土義一本

嘉祥寺吉蔵造

三論宗金

同經宗要一卷

元脱

海東最良且

狀經論第三

無量壽經義記一卷

同經疏一卷

同經略論淨土義一本

同經宗要一卷

龍樹造 跋提摩多訳

賢惠菩薩造

天親造 真諦訳

已上十一部百三十七卷

淨影寺惠遠造

嘉祥寺吉蔵造

元脱

海東最良且

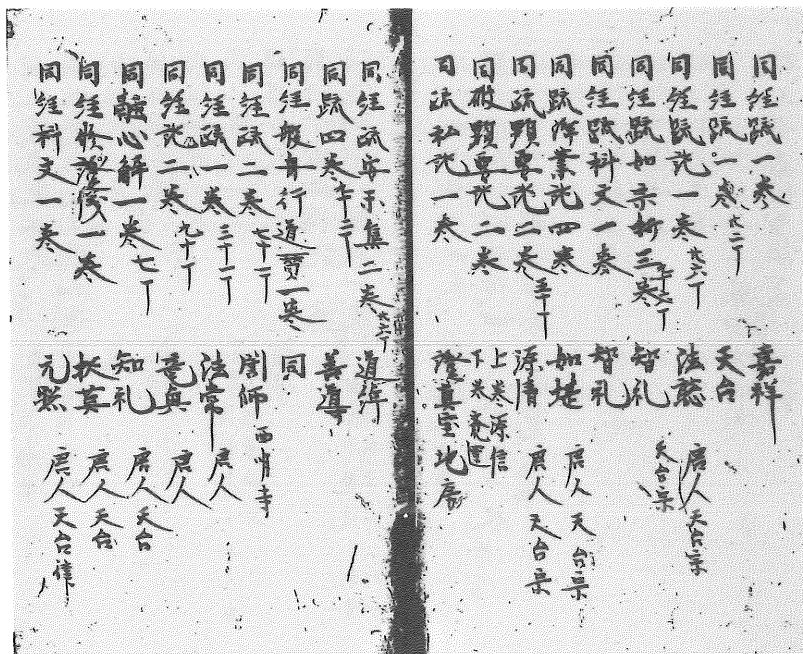
(10オ)

同經連義疏三卷	義寂 <small>法相宗</small>
同經連義疏三卷	憬興 <small>法相宗</small>
同經疏二卷	玄一
同經疏二卷	法位
同經私記一卷	善珠 <small>法相宗日本入真</small>
同經私記一卷	智景
同經十最疏傳記一卷	靜照 <small>天台律宗東谷塔</small>
同經四十八願尺一卷	澄憲 <small>天台宗</small>
同經四十八尺一卷	澄憲 <small>天台宗</small>
同上悲花經阿彌陀四十八願抄一卷	澄憲
同經四十八願義四卷	隆寬 <small>山僧</small>
同經尺一卷	黑谷
同經本願鏡五卷	称名庵
同經義海十卷	同
同經科文二卷	同
已上二十一部四十四卷	淨影

(11才)

(10ウ)

同經述義記三卷	義寂 <small>法相宗</small>
同經連義述文贊三卷	憬興 <small>法相宗</small>
同經記二卷	玄一
同經疏二卷	法位
同經私記一卷	善珠 <small>法相宗日本入真</small>
同經贊抄一卷	智景
同經私記一卷	靜照 <small>天台律宗東谷塔</small>
同經十最疏傳記一卷	澄憲
同經四十八願尺一卷	澄憲
同經四十八尺一卷	澄憲
同上悲花經阿彌陀四十八願抄一卷	澄憲
同經四十八願義四卷	隆寬 <small>山僧</small>
同經尺一卷	黑谷
同經本願鏡五卷	称名庵
同經義海十卷	同
同經科文二卷	同
已上二十一部四十四卷	淨影



(12オ)

(11ウ)

同經疏安樂集一卷廿六  
 同疏四卷九十二  
 同經般舟行道贊一卷  
 同經疏二卷三十一  
 同經疏一卷三十一  
 同經記二卷九十一  
 同融心解一卷七十一  
 同經修証儀一卷  
 同經科文一卷

同經疏一卷  
 同經疏一卷廿二  
 同經疏記一卷廿六  
 同經疏如宗抄三卷九十六  
 同經疏科文一卷  
 同疏淨業記四卷  
 同疏顯要記二卷五十一  
 同破顯要記二卷  
 同疏私記一卷

道綽  
 善導  
 同  
 闍師  
 法常  
 龜興  
 知礼  
 沢英  
 元照

嘉祥  
 天台  
 法聰  
 智礼  
 智礼  
 如堪  
 源清  
 証真宝地房

同經義疏二卷<sub>唐</sub> 同  
 同疏正觀記三卷<sub>唐</sub> 戒度<sub>唐人元照未第</sub>  
 同疏扶新論一卷<sub>唐</sub> 同  
 同疏白蓮記四卷<sub>唐</sub> 用欽<sub>元照未第</sub>  
 同疏瓊林記一卷 長松沙門<sub>宗密唐人</sub>  
 同記菩薩正持記一卷 道心  
 同經三聖立像記一卷 元照  
 同經十六觀法指而一卷 永壽沙門<sub>唐</sub>  
 同經定散義一卷<sub>唐</sub> 雲間沙門可觀述<sub>唐</sub>  
 同經開題一卷  
 同經畧意一卷  
 同經十六想觀入真言觀一卷 長源慈惠和尚  
 同經九品往生略注一卷<sub>唐</sub> 靜照  
 同經遊意一卷<sub>唐</sub> 利源  
 同經九品往生問答一卷<sub>唐</sub> 員性禪師  
 同經尺一卷  
 同經記一卷  
 同經尺一卷<sub>唐</sub>

(13才)

(12ウ)

同經義疏二卷<sub>唐</sub>  
 同疏正觀記三卷<sub>唐</sub>  
 同疏扶新論一卷<sub>唐</sub>  
 同疏白蓮記四卷<sub>唐</sub>  
 同疏瓊林記一卷  
 同記菩薩正持記一卷  
 同經三聖立像記一卷  
 同經十六觀法指南一卷  
 同經定散義一卷<sub>唐</sub>  
 同經開題一卷  
 同經畧意一卷  
 同經十六想觀入真言觀一卷  
 同經九品往生略注一卷<sub>唐</sub>  
 同經遊意一卷<sub>唐</sub>  
 同經九品往生問答一卷<sub>唐</sub>  
 同經尺一卷  
 同經記一卷  
 同經尺一卷<sub>唐</sub>

同  
 戒度<sub>唐人元照未第</sub>  
 同  
 用欽<sub>元照未第</sub>  
 長松沙門<sub>宗密唐人</sub>  
 道心  
 元照  
 永壽沙門<sub>唐</sub>  
 雲間沙門可觀述<sub>唐</sub>  
 長源慈惠和尚  
 靜照  
 利源  
 員性禪師







同經疏一卷	無名
同經注一卷	長水秦思作 唐人
同經私記一卷	源信
同經畧記一卷 <small>卷上</small>	永觀
同經要記一卷 <small>卷上</small>	永觀 <small>所見之本係傳經</small>
同經綱要記二卷 <small>卷上 卷下</small>	永觀 <small>傳經</small>
同經懺法一卷	黑谷
同經尺一卷	同
同讀淨土經疏一卷 <small>卷上</small>	淨邁 <small>大慈恩寺</small>
同經述贊一卷	慈恩 <small>玄奘弟子</small>
同經畧贊一卷 <small>卷上</small>	
同經尺一卷	
已上三十九部四十九卷	
請觀音經疏一卷	天台
五方便念佛門一卷	同
淨土十疑論一卷	同 <small>本題云往生淨土十疑此本有存而本少異</small>
同論科文一卷	元照
同論注解一卷	澄惑

(16才)

(15ウ)

同經疏一卷	無名
同經注一卷	長水秦思作 唐人
同經私記一卷	源信
同經略記一卷 <small>卷上 卷下</small>	永觀
同經要記一卷 <small>卷上 卷下</small>	永觀 <small>所見之本係傳經</small>
同經綱要記二卷 <small>卷上 卷下</small>	永觀 <small>傳經</small>
同經懺法一卷	黑谷
同經尺一卷	同
同讀淨土經疏一卷 <small>卷上 卷下</small>	淨邁 <small>大慈恩寺</small>
同經述贊一卷	慈恩 <small>玄奘弟子</small>
同經略贊一卷 <small>卷上 卷下</small>	
同經尺一卷	
已上三十九部四十九卷	
請觀音經疏一卷	天台
五方便念佛門一卷	同
淨土十疑論一卷	同 <small>本題云往生淨土十疑此本有存而本少異</small>
同論科文一卷	元照
同論注解一卷	澄惑

淨土論三卷  
同略本一卷  
百二十丁  
懷感  
慈恩  
西方要決一卷  
往生論注二卷  
同略疏五卷  
同論五念門私行儀一卷  
同論後念五門行式一卷  
同論五念略作法一卷  
蓮花谷明遍  
同論五念門頌一卷  
同論臨終五念門行儀一卷  
往生論五念門略抄一卷  
往生論五念門行儀一卷  
已上淨土論注尺九部十四卷  
十二禮疏一卷  
同結儀法一卷  
般若三昧經略記一卷  
般若三昧經行第鈔一卷  
天台山覺潤  
同略本一卷  
百二十丁  
懷感  
慈恩  
西方要決一卷  
往生論注二卷  
同略疏五卷  
同論五念門私行儀一卷  
同論後念五門行式一卷  
同論五念略作法一卷  
蓮花谷明遍  
同論五念門頌一卷  
同論臨終五念門行儀一卷  
往生論五念門略抄一卷  
往生論五念門行儀一卷  
已上淨土論注尺九部十四卷  
十二禮疏一卷  
同結儀法一卷  
般若三昧經略記一卷  
般若三昧經行第鈔一卷  
天台山覺潤

(17才)

(16ウ)

淨土論三卷  
同略本一卷  
百二十丁  
懷感  
慈恩  
西方要決一卷  
往生論注二卷  
同略疏五卷  
同論五念門私行儀一卷  
同論後念五門行式一卷  
同論五念略作法一卷  
蓮花谷明遍  
同論五念門頌一卷  
同論臨終五念門行儀一卷  
往生論五念門略抄一卷  
往生論五念門行儀一卷  
已上淨土論注尺九部十四卷  
十二禮疏一卷  
同結儀法一卷  
般若三昧經略記一卷  
般若三昧經行第鈔一卷  
天台山覺潤  
同略本一卷  
百二十丁  
懷感  
慈恩  
西方要決一卷  
往生論注二卷  
同略疏五卷  
同論五念門私行儀一卷  
同論後念五門行式一卷  
同論五念略作法一卷  
蓮花谷明遍  
同論五念門頌一卷  
同論臨終五念門行儀一卷  
往生論五念門略抄一卷  
往生論五念門行儀一卷  
已上淨土論注尺九部十四卷  
十二禮疏一卷  
同結儀法一卷  
般若三昧經略記一卷  
般若三昧經行第鈔一卷  
天台山覺潤

卷是前卷

論注是例十卷

同經觀念阿彌陀佛一卷

依般舟賢護等經立七日道場稽請儀一卷

已上七部七卷

集義錄第四

空法義論一卷

思惟略要法注一卷

出離生死要文一卷

遊心安樂道一卷

元曉

天台

羅什

北齊稠禪師

唐一人一名教論法

論一名義法

飛錫

唐一人

陰山慶文

同

同

法然

後善導

王日休

唐一人

(17ウ)

從法西晉云

論注見聞十卷

同經觀念阿彌陀佛一卷

依般舟賢護等經立七日道場稽請儀一卷

已上七部七卷

集義錄第四

空法義論一卷

思惟略要法注一卷

出離生死要文一卷

遊心安樂道一卷

元曉

天台

羅什

北齊稠禪師

唐一人一名教論法

論一名義法

飛錫

唐一人

陰山慶文

同

同

法然

後善導

王日休

(18才)

從法西晉云

論注見聞十卷

同經觀念阿彌陀佛一卷

依般舟賢護等經立七日道場稽請儀一卷

已上七部七卷

集義錄第四

空法義論一卷

思惟略要法注一卷

出離生死要文一卷

遊心安樂道一卷

元曉

天台

羅什

北齊稠禪師

唐一人一名教論法

論一名義法

飛錫

唐一人

陰山慶文

同

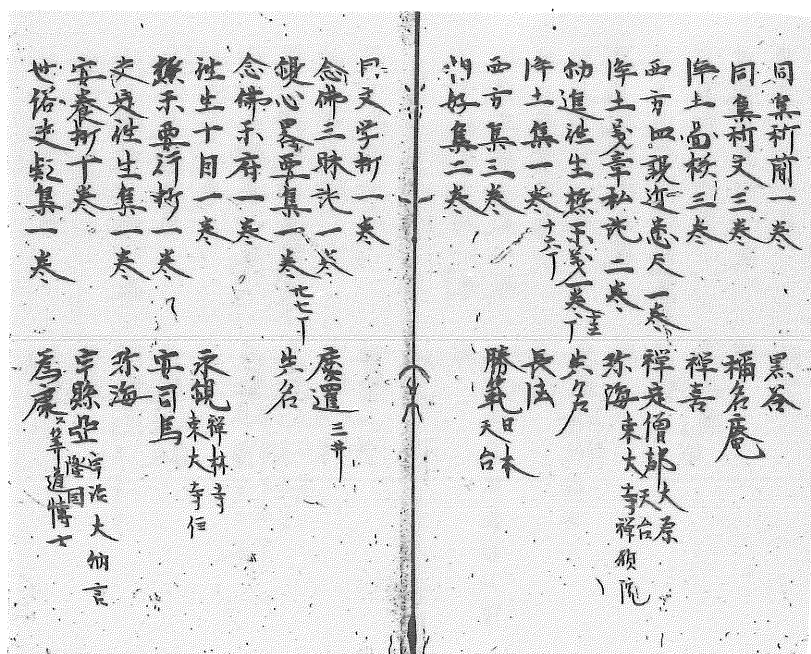
同

法然

後善導

王日休





(20オ)

(19ウ)

同文学抄一卷  
念仏三昧記一卷  
観心略要集一卷  
念仏樂府一卷  
往生十因一卷  
極楽要行抄一卷  
決定往生集一卷  
安養抄十卷  
世俗決疑集一卷

同集<sup>(マ)</sup>祈簡一卷  
同集<sup>(マ)</sup>祈文三卷  
浄土図様三卷  
西方四親近悉尺一卷  
浄土義章私記二卷  
勧進往生極楽義一卷  
浄土集一卷  
西方集三卷  
相好集二卷

慶進<sup>(マ)</sup>三井  
失名  
永観<sup>東林寺住</sup>  
安司馬  
珍海  
宇縣<sup>宇治大納言</sup>  
為康<sup>算道博士</sup>

黒谷  
称名庵  
禪喜  
禪定僧都<sup>大天原</sup>  
珍海<sup>東大寺禪願院</sup>  
失名  
長法  
勝範<sup>日本天台</sup>



觀共往生集一卷	和識善導和尚集一卷	彈選抄一卷	彌陀名義一卷	已上	別出錄第五	大乘義章第七	大乘義章十九	同淨土義私記二卷
出經大綱一卷	彈選抄一卷	彈選抄一卷	彌陀名義一卷	已上	別出錄第五	大乘義章第七	大乘義章十九	同淨土義私記二卷
淨土決疑抄三卷	專修要行抄一卷	臨終要文集三卷	觀心往生論一卷	西方要抄一卷	佛道宗論一卷	念佛同法要記一卷	隆寬	修我我禪房
張舜田藏房	隆寬	修我我禪房	隆寬	修我我禪房	隆寬	修我我禪房	隆寬	修我我禪房
沙門禁西錄	金剛末巡記沙門智	淨土決疑抄三卷	專修要行抄一卷	臨終要文集三卷	觀心往生論一卷	西方要抄一卷	佛道宗論一卷	念佛同法要記一卷
同	西空帝山心運	同	西空帝山心運	同	西空帝山心運	同	西空帝山心運	同

(22オ)

(21ウ)

觀共往生集一卷	出經大綱一卷	淨土決疑抄三卷	專修要行抄一卷	臨終要文集三卷	觀心往生論一卷	西方要抄一卷	佛道宗論一卷	念佛同法要記一卷
沙門禁西錄	金剛末巡記沙門智	淨土決疑抄三卷	專修要行抄一卷	臨終要文集三卷	觀心往生論一卷	西方要抄一卷	佛道宗論一卷	念佛同法要記一卷
同	西空帝山心運	同	西空帝山心運	同	西空帝山心運	同	西空帝山心運	同

觀共往生集一卷	出經大綱一卷	淨土決疑抄三卷	專修要行抄一卷	臨終要文集三卷	觀心往生論一卷	西方要抄一卷	佛道宗論一卷	念佛同法要記一卷
沙門禁西錄	金剛末巡記沙門智	淨土決疑抄三卷	專修要行抄一卷	臨終要文集三卷	觀心往生論一卷	西方要抄一卷	佛道宗論一卷	念佛同法要記一卷
同	西空帝山心運	同	西空帝山心運	同	西空帝山心運	同	西空帝山心運	同



大乗玄論第三  
 廣河止觀第二  
 同輔行記第二  
 同搜要記第二  
 同輔注第二  
 同私記  
 淨名經疏第一  
 同疏記上  
 同疏私記上  
 同疏記第一  
 同疏記第一  
 同疏私記第一  
 天台山國清寺百錄第一  
 華嚴經孔目章第三  
 普賢行願品別疏一卷  
 諸經要集第一  
 諸仏淨穢二十事  
 大乘法花林章第七  
 嘉祥  
 天台  
 湛然  
 同  
 後  
 澄真  
 天台  
 湛然  
 道暹  
 行滿  
 道遠  
 澄真  
 章安  
 智儼  
 澄觀  
 道空  
 貞慶  
 慈恩

(23才)

(22ウ)

大乗玄論第三  
 摩訶止觀第二  
 同輔行記第二  
 同搜要記第二  
 同輔注第二  
 同私記  
 淨名經疏第一  
 同疏記上  
 同疏私記上  
 同疏記第一  
 同疏記第一  
 同疏私記第一  
 天台山國清寺百錄第一  
 華嚴經孔目章第三  
 普賢行願品別疏一卷  
 諸經要集第一  
 諸仏淨穢二十事  
 大乘法花林章第七  
 嘉祥  
 天台  
 湛然  
 同  
 從義  
 証真  
 天台  
 湛然  
 道暹  
 行滿  
 道遠  
 証真  
 章安  
 智儼  
 澄觀  
 道空  
 貞慶  
 慈恩

一切經序科十五	法苑珠林十五	新花嚴疏十五	一期大要集十六	慈觀抄十二	轉法輪抄弥陀部	已上	修行錄第六	般舟三昧法一卷	天台
道世唐人	澄觀	靈心 <small>實利多撰</small>	珍兼延歷寺已講	澄憲	已上	修行錄第六	般舟三昧法一卷	天台	
觀修淨業文	智言	入宋比丘四 <small>日本</small>	四聖懺儀一卷淨業有之	觀修淨業文	智言	觀修淨業文	觀修淨業文	觀修淨業文	智言

(24才)

(23ウ)

一切經序科第十五	法苑珠林第十五	新花嚴疏第十	一期大要集第六	悉檀抄第二	轉法輪抄弥陀部	已上	修行錄第六	般舟三昧法一卷	天台
道世唐人	澄觀	靈心 <small>實利多撰</small>	珍兼延歷寺已講	澄憲	已上	修行錄第六	般舟三昧法一卷	天台	
觀修淨業文	智言	入宋比丘四 <small>日本</small>	四聖懺儀一卷淨業有之	觀修淨業文	智言	觀修淨業文	觀修淨業文	觀修淨業文	智言

道世唐人	澄觀	靈心 <small>實利多撰</small>	珍兼延歷寺已講	澄憲	已上	修行錄第六	般舟三昧法一卷	天台
道世唐人	澄觀	靈心 <small>實利多撰</small>	珍兼延歷寺已講	澄憲	已上	修行錄第六	般舟三昧法一卷	天台
觀修淨業文	智言	入宋比丘四 <small>日本</small>	四聖懺儀一卷淨業有之	觀修淨業文	智言	觀修淨業文	觀修淨業文	觀修淨業文

礼十二光佛文一卷	元照
淨業礼念簡要一卷	道教
廬山尊者礼文一卷	元懷居士唐人
阿弥陀懺法一卷	慈覺
常行三昧堂行法一卷	同
修行念佛七日道場懺方法一卷	同
西方極樂要贊一卷	昌海
阿弥陀悔過一卷	僧賀
無言念佛觀次第一卷	同
書寫聖人十心法一卷	靜照
往生十念一卷	源信
白毫相觀一卷	同
十戒卑下心經一卷	同
十心法一卷	同
礼諸陀四十八願文一卷	同
存略觀一卷	同
臨終行儀一卷	同
自行略記一卷	同

(25才)

(24ウ)

礼十二光仏文一卷	元照
淨業礼念簡要一卷	道教
廬山尊者礼文一卷	元懷居士唐人
阿弥陀懺法一卷	慈覺
常行三昧堂行法一卷	同
修行念佛七日道場懺方法一卷	同
西方極樂要贊一卷	昌海
阿弥陀悔過一卷	僧賀
無言念佛觀次第一卷	同
書寫聖人懺悔法一卷	靜照
往生十念一卷	源信
白毫相觀一卷	同
十戒卑下心經一卷	同
懺悔法一卷	同
礼弥陀四十八願文一卷	同
存略觀一卷	同
臨終行儀一卷	同
自行略記一卷	同



(26オ)

(25ウ)

三時念佛光一卷  
決定往生行業文一卷  
往生講式一卷  
自行略記一卷  
自行念佛私記一卷  
私用心一卷  
念佛助成観一卷  
眉間白毫集一卷  
病中修行記一卷

同 同 同 同 同 同 同 同 同  
観定 真源 禪嘉 実範

正修観記一卷  
阿弥陀観念一卷  
十業講作法一卷  
私用心一卷  
決定往生臨終十念縁起一卷  
念仏宝号一卷  
念仏偈一卷  
地想観文一卷  
常途念仏記一卷

同 同 同 同 同 同 同 同 同  
永観 覚超 恵心 同朋

西方要觀一卷	阿彌陀觀私記一卷	九品往生所作一卷	極樂行儀一卷	阿彌陀別相觀一卷	安樂世界依正觀門一卷	七日念佛私記一卷	相像極樂觀一卷	念佛三昧一卷	晝夜淨土禮文一卷	阿彌陀十四禮贊一卷	觀心念佛一卷	七日導師作法一卷	自行略論私記一卷	隨意別行文一卷	順次往生講作法一卷
同	慶祚園利	失名	小聖龜山居	延歷寺惠觀	大安寺 <small>三論教宗</small>	延歷寺惠觀	沙門 行田 <small>山僧</small>	同	明賢	仁覺	同	仁覺	同	仁覺	同

(27オ)

(26ウ)

西方要觀一卷	阿彌陀觀私記一卷	九品往生所作一卷	極樂記一卷	臨終行儀一卷	阿彌陀別相觀一卷	安樂世界依正觀門一卷	七日念佛私記一卷	相像極樂觀一卷	念仏三昧一卷	晝夜淨土禮文一卷	阿彌陀十四禮贊一卷	觀心念佛一卷	懺悔行法一卷	七日導師作法一卷	自行略論私記一卷	隨意別行文一卷	順次往生講作法一卷
同	慶祚園利	失名	小聖龜山居	大安寺 <small>三論教宗</small>	延歷寺惠觀	延歷寺惠觀	沙門 行田 <small>山僧</small>	同	明賢	仁覺	同	仁覺	同	仁覺	同	仁覺	同

順次往生要行一卷

同

順次往生講式一卷

真源 永久二年十二月十五日

自行念仏私記一卷

同

六道惣尺一卷

澄憲 延久集

相好略頌一卷

同

逆接講式一卷

同

往生極樂觀

同

七日念仏啓白文一卷

蓮華谷

如法念仏懺悔法一卷

黒谷

浄土三部經如法書写作法一卷 同

七日念仏結願敬白一卷

貞慶

念仏三昧方法一卷

俊仍

光明講式一卷

吉水 慈照初尚  
下上 慈照僧王

導善和尚礼文一卷

野宮左相府 大寺大願

善導講私記一卷

隆寛

報恩講式一卷

同

略往生講式一卷

寛倫 廬山寺日本  
住心房

已上八十五部八十五卷

(28才)

(27ウ)

順次往生要行一卷

順次往生講式一卷

自行念仏私記一卷

六道惣尺一卷

相好略頌一卷

迎接講式一卷

往生極樂觀

七日念仏啓白文一卷  
如法念仏懺悔法一卷

浄土三部經如法書写作法一卷

七日念仏結願敬白一卷

念仏三昧方法一卷

光明講式一卷

導善和尚礼文一卷

善導講私記一卷

報恩講式一卷

略往生講式一卷  
已上八十五部八十五卷

同

真源 永久二年十二月十五日

同

澄憲 延久集

同

同

蓮華谷

黒谷

同

貞慶

俊仍

吉水 慈照初尚  
下上 慈照僧王

野宮左相府 大寺大願

隆寛

同

寛倫 廬山寺日本  
住心房

十二光佛讚一卷	阿彌陀十札讚一卷	諸讚集一卷	小野小町表狀光一卷	西方極樂要讚一卷	觀音讚一卷	西方極樂要讚一卷	西方觀伽陀一卷	六八弘願一卷
元照			弘法	道詮	良源	後中書	忠算	源
						王仲裕		
						慈惠大師		

讚頌錄第七	十弥陀偈一卷	西方法夏讚文一卷	西方讚文一卷	西方礼文一卷	西方淨土讚一卷	西方礼讚一卷	阿弥陀偈一卷	善導和尚銘一卷
善導		飛錫	失名	白居易			同	曇省
							唐天竺人	

(29才)

(28ウ)

十二光仏讚一卷	阿彌陀十札讚一卷	諸讚集一卷	小野小町表狀記一卷	西方極樂要讚一卷	觀音讚一卷	西方極樂讚一卷	西方觀伽陀一卷	六八弘願一卷
元照			弘法	道詮	良源	後中書	忠算	源
						王仲裕		
						慈惠大師		

讚頌錄第七	十弥陀偈一卷	西方法事讚文一卷	西方讚文一卷	西方礼文一卷	西方淨土讚一卷	西方礼讚一卷	阿弥陀偈一卷	善導和尚銘一卷
善導		飛錫	失名	白居易			同	曇省
							唐天竺人	





十樂和讀一卷  
 蓮心房正定房  
 極樂古調詩並記一卷  
 善導和書讚一卷  
 惠心僧都銘一卷  
 十六相觀詩  
 念佛三昧詩  
 已上  
 傳記錄第八  
 然忘刪傳三卷  
 戒殊  
 敏仲侍郎唐俗  
 通東唐人  
 忘雲  
 清月唐人  
 王古敏仲侍郎  
 盧山十八賢傳一卷  
 懷玉法師屈記一卷  
 日本往生傳一卷  
 作胤  
 蓮心房正定房  
 平基觀宮內省  
 孝範久氣博士  
 空然  
 藤時通  
 小康文論共撰

(31才)

(30ウ)

往生淨土傳三卷  
 新修往生傳三卷  
 大唐往生傳一卷  
 往生淨土略傳一卷  
 大唐往生略傳一卷  
 往生淨土寶珠集八卷  
 盧山十八賢傳一卷  
 懷玉法師屈記一卷  
 日本往生傳一卷

十樂和讀一卷  
 極樂古調詩並記一卷  
 善導和書讚一卷  
 惠心僧都銘一卷  
 十六相觀詩  
 念佛三昧詩  
 已上  
 傳記錄第八  
 然忘刪傳三卷

戒殊  
 敏仲侍郎唐俗  
 道朱唐人  
 慈雲  
 清月唐人  
 王古敏仲侍郎  
 付図竜眠唐人  
 郎法師作  
 保胤

蓮心房正定房  
 古調詩三百韻俊基參父小納信  
 平基觀宮內省  
 孝範久氣博士  
 空然  
 藤時通  
 小康文論共撰

後日本往生傳一卷  
 惠心僧都傳一卷  
 作土五祖傳一卷  
 善導和尚類傳一卷  
 京師和尚類聚傳一卷  
 小田原上人傳一卷  
 入道融運傳一卷  
 大法忍傳一卷  
 已上  
 江都督日本  
 江旌國日本  
 黑谷  
 寬倫  
 幸西成寬房  
 通憲子息  
 寬倫

盧山集  
 念佛三昧詩序一卷  
 西文淨業文一卷  
 臨終正念記一卷  
 大聖竹林寺記一卷  
 青龍阿闍梨臨終行儀一卷  
 神棲安養賦一卷  
 盧山記三卷  
 同  
 天台  
 善導  
 注釈  
 智覺神栖惠日寺  
 遠大師集義錄

(32才)

(31ウ)

続日本往生伝一卷  
 恵心僧都伝一卷  
 浄土五祖伝一卷  
 善導和尚類伝一卷  
 京師和尚類聚伝一卷  
 小田原上人伝一卷  
 入道融運伝一卷  
 尺法忍伝一卷  
 已上  
 江都督日本  
 江旌国日本  
 黒谷  
 寛倫  
 幸西成寛房  
 通憲子息  
 寛倫

雑述録第九  
 盧山集  
 念仏三昧詩序一卷  
 西方浄業文一卷  
 臨終正念記一卷  
 大聖竹林寺記一卷  
 青龍阿闍梨臨終行儀一卷  
 神棲安養賦一卷  
 盧山記三卷  
 同  
 天台  
 善導  
 法然照イ  
 智覺神栖惠日寺  
 遠大師集義錄

專修淨業記一卷	智栄 <small>唐人</small>	專修淨業記一卷	智栄 <small>唐人</small>
安養賦一卷	智光	安養賦一卷	智光
八ヶ条起請一卷	千観	八ヶ条起請一卷	千観
前集		前集	
嚴宿善行一卷 <small>折本</small>	源信	嚴宿善行一卷 <small>折本</small>	源信
勤女往生義一卷	同	勤女往生義一卷	同
懈怠意行記一卷	同	懈怠意行記一卷	同
隨意八大願文一卷	同	隨意八大願文一卷	同
花臺院八ヶ条起請一卷	同	花臺院八ヶ条起請一卷	同
目行化起他請	合六ヶ条	目行化起他請	合六ヶ条
擬聖人起請	合三ヶ条	擬聖人起請	合三ヶ条
内道天持念	合三ヶ条	内道天持念	合三ヶ条
賢仁持言	合三ヶ条	賢仁持言	合三ヶ条
方便助道略記 <small>ハ</small>		方便助道略記 <small>ハ</small>	
四十一ヶ条起請	已上惠心作	四十一ヶ条起請	已上惠心作
且那院僧正念仏宝号一卷 <small>二</small>		且那院僧正念仏宝号一卷 <small>二</small>	
結縁念仏三ヶ条起請一卷 <small>二</small>		結縁念仏三ヶ条起請一卷 <small>二</small>	
寬印供奉心願行面文一卷 <small>不審</small>		寬印供奉心願行面文一卷 <small>不審</small>	

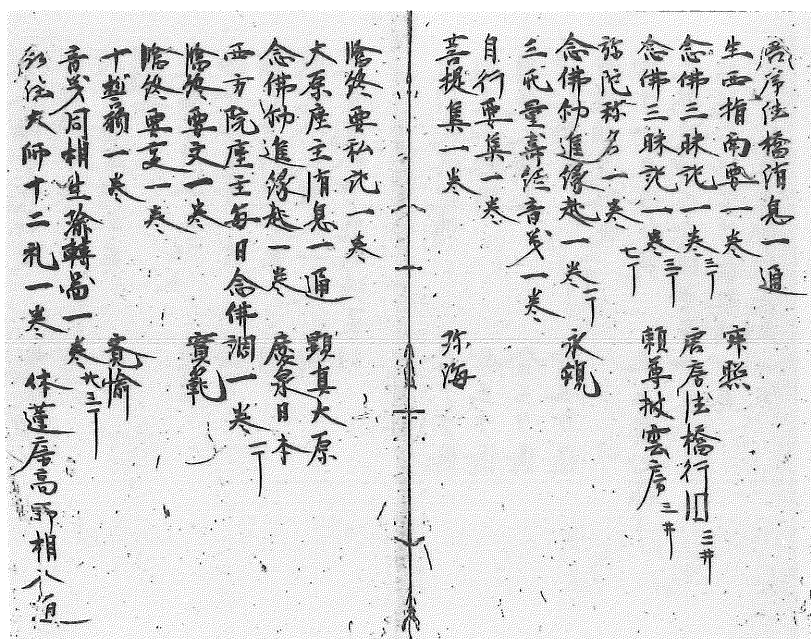
(33才)

(32ウ)

專修淨業記一卷	智栄 <small>唐人</small>	專修淨業記一卷	智栄 <small>唐人</small>
安養賦一卷	智光	安養賦一卷	智光
八ヶ条起請一卷	千観	八ヶ条起請一卷	千観
前集		前集	
嚴宿善行一卷 <small>折本</small>	源信	嚴宿善行一卷 <small>折本</small>	源信
勤女往生義一卷	同	勤女往生義一卷	同
懈怠意行記一卷	同	懈怠意行記一卷	同
隨意八大願文一卷	同	隨意八大願文一卷	同
花台院八ヶ条起請一卷	同	花台院八ヶ条起請一卷	同
因行化起他請	合六ヶ条	因行化起他請	合六ヶ条
擬聖人起請	合三ヶ条	擬聖人起請	合三ヶ条
内道天持念	合三ヶ条	内道天持念	合三ヶ条
賢仁持言	合三ヶ条	賢仁持言	合三ヶ条
方便助道略記 <small>ハ</small>		方便助道略記 <small>ハ</small>	
四十一ヶ条起請	已上惠心作	四十一ヶ条起請	已上惠心作
且那院僧正念仏宝号一卷 <small>二</small>		且那院僧正念仏宝号一卷 <small>二</small>	
結縁念仏三ヶ条起請一卷 <small>二</small>		結縁念仏三ヶ条起請一卷 <small>二</small>	
寬印供奉心願行面文一卷 <small>不審</small>		寬印供奉心願行面文一卷 <small>不審</small>	

已上惠心作

智栄唐人  
智光  
千観  
源信  
同  
同  
同  
同



(33ウ)

唐房法橋消息一通  
生西指南要一卷  
念仏三昧記一卷  
念仏三昧記一卷  
弥陀称名一卷  
念仏勸進縁起一卷  
三無量寿経音義一卷  
自行要集一卷  
菩提集一卷

寂照  
唐房法橋行円  
頼尊披雲房  
永観  
珍海

(34オ)

臨終要私記一卷  
大原座主消息一通  
念仏勸進縁起一卷  
西方院座主毎日念仏調一卷  
臨終要文一卷  
臨終要事一卷  
十誓願一卷  
音義同相生瑜転図一卷  
弘法大師十二礼一卷

顕真大原  
慶泉日本  
実範  
覚愉  
体蓮房高野相入道

勸十六觀堂緣起一卷 俊苾  
檢般舟讚後序述臺意一卷 行  
善導和尚知識集 称名庵

已上

偽妄錄第十

九品往生經一卷 不空訳  
淨土阿彌陀經一卷  
四十八願阿彌陀經一卷 阿陀瞿陀訳  
無量壽經一卷

無量壽淨土阿彌陀經一卷

淨土三昧經一卷

往生淨土本經一卷

念佛鏡一卷

天竺往生傳一卷

往生傳三卷

善導和尚遺言一卷

大乘玄涅槃章

牙那支額

(34ウ)

勸十六觀堂緣起一卷  
檢般舟讚後序述臺意一卷  
善導和尚知識集

已上

偽妄錄第十

九品往生經一卷  
淨土阿彌陀經一卷  
四十八願阿彌陀經一卷  
無量壽經一卷

無量壽淨土阿彌陀經一卷

淨土三昧經一卷

往生淨土本經一卷

念佛鏡一卷

天竺往生傳一卷

往生傳三卷

善導和尚遺言一卷

大乘玄涅槃章

樂邦文類

俊苾  
行  
称名庵

不空訳

阿陀瞿陀訳

善導共道鏡撰  
天親造羅什訳  
戒珠

嘉祥作也  
宗曉作也

(35才)



解麟聖財論一部四卷 法文集  
略論安未淨土要一卷 同上  
安未集上下部  
觀經疏一卷  
往生禮讚一卷  
法華讀上下  
觀念法門一卷  
般若讀一卷  
略終正念史一卷  
同 同 同 同 同  
善導大師  
道綽禪師

得集  
阿彌陀經一卷  
三經松託一卷  
西晉教心抄一卷  
因樹十二則戒修一卷  
三聚一心戒一卷  
淨土初學抄一卷  
金剛寶戒章一卷  
性生要集略斯南寒  
彌室寒物一卷  
同  
聖教集上下  
淨土布薩式上下  
略戒修一卷  
大原十二則卷集一卷  
木願寒系一卷  
金剛寶戒及發章一卷  
性生大要抄  
師老洗相一卷

(36ウ)

略論安樂淨土義一卷  
安樂集上下一部  
觀經疏四卷  
往生禮讚一卷  
法事讚上下  
觀念法門一卷  
般舟讚一卷  
臨終正念決一卷

阿弥陀義一卷  
從是後十人作  
 三經私記一卷  
 西方發心抄一卷  
 円頓十二門戒儀一卷  
 三聚一心戒一卷  
 浄土初学抄一卷  
 金剛宝戒章一卷  
 往生要集略析簡一卷  
 初重卷物一卷

彌陀經私記一卷

七ヶ條起請文

從是聖光上人作

五祖傳一卷  
已上法林上人作也

淨土三卷名目

重書

三心私記

從是記主上人作

論注記五卷

許通記十五卷

安樂集記上下

禮讚記上下

藏知年土論十卷

徹選抄二卷已上聖光上人作

法華經私記三卷

般舟論記一卷

史疑抄五卷

肝心宗要論三卷

從生陰勺一卷

願解抄一卷

史疑切要書一卷

從是良曉上人作

述別為多一卷同追加

觀念法門記上下

要集記八卷

宗要論義五卷

史疑上下

略抄八卷

徹選抄上下

已上記主作

肝心集一卷

弥陀經私記一卷

七ヶ條起請文

從是聖光上人作

淨土三卷名目

重書

三心私記

從是記主上人作

論注記五卷

伝通記十五卷

五祖伝一卷

已上法然上人作也

二重卷物一卷

識知淨土論十卷

徹選抄二卷已上聖光上人作

安樂集記上下

禮讚記上下

法華讀記三卷

般舟論記一卷

史疑抄五卷

肝心宗要論義三卷

從生詮勺一卷

願解抄一卷

決疑抄裏書一卷

從是良曉上人作

述聞論義一卷同追加

觀念法門記上下

要集記八卷

宗要論義五卷

決答上下

略抄八卷

徹選抄上下

已上記主作

肝心集一卷

(38才)

(37ウ)





(38ウ)

意樂用心記一卷  
禮讚見聞一卷  
室書裏書

選採見聞一卷  
觀念法門見聞一卷  
已上良曉上人作

從是聖問和尚作

糝鈔四十八卷

二藏二教略頌一卷

二藏義三十卷

同見聞三卷

二藏頌義一卷

顯淨土傳戒論一卷

述聞口決抄二卷

銘心鈔二卷

初重二三抄三卷

直牒十卷

名目圖一卷

同見聞上下

禮讚見聞二卷

不思議抄一卷

集疑問決集一卷

破邪顯正義一卷

勸心慈訓集一卷

拾目見聞一卷

本文集卷數不尽

觀心要決集一卷

切紙十八通

同見聞一卷

禪林集歌

三心具不生義

古今序註十卷

心具決定往生義

涇渭今流抄

已上了譽上人作

(39オ)

意樂用心記一卷  
禮讚見聞一卷  
重書裏書

從是聖問和尚作

糝鈔四十八卷

二藏義三十卷

二藏頌義一卷

述聞口決抄二卷

初重二三抄三卷

名目圖一卷

禮讚見聞二卷

集疑問決集一卷

勸心慈訓集一卷

本文集卷數不尽

切紙十八通

禪林集歌

古今序註十卷

涇渭今流抄

選採見聞一卷  
觀念法門見聞一卷  
已上良曉上人作

從是聖問和尚作

二藏二教略頌一卷

同見聞三卷

顯淨土傳戒論一卷

銘心鈔二卷

直牒十卷

同見聞上下

不思議抄一卷

破邪顯正義一卷

拾目見聞一卷

觀心要決集一卷

同見聞一卷

三心具不生義

心具決定往生義

已上了譽上人作

從是西譽上人作  
 論注見別十卷  
 法要預見別三卷  
 般舟讚見別一卷  
 二藏不審請決二卷並六  
 指南目錄抄一卷  
 繫解序見別  
 大經要注光二十四卷  
 大原問答聞書一卷同切紙二通  
 同私抄一卷  
 觀念法門相續上下  
 二藏綱維義一卷  
 五重拾遺抄三卷  
 六祖口決集一卷  
 選法法數圖記十卷  
 選法法數圖記八卷  
 切紙拾遺數通  
 切紙見別  
 曼陀羅疏四十八卷  
 徹選抄本末口決集二卷  
 三種劫量圖記二卷  
 論義藏等  
 已上西譽上人作  
 玄文深義抄  
 論藏藏二百題  
 便宜抄卷數不尽  
 禪林集歌注  
 十重不審請決了普上決  
 曼陀羅切紙一通  
 徹選抄切紙六通  
 三卷名目見聞一卷  
 三國傳來血脉譜一卷  
 大原深義抄  
 二卷名目見聞私書

(40才)

(39ウ)

從是西譽上人作  
 論注見聞十卷  
 法事讚見聞三卷  
 般舟讚見聞一卷  
 二藏不審請決二卷並六  
 指南目錄抄一卷  
 釋鈔序見聞  
 大經要注記二十四卷  
 大原問答聞書一卷  
 同私抄一卷  
 觀念法門相續上下  
 二藏綱維義一卷  
 五重拾遺抄三卷  
 六祖口決集一卷  
 選法法數圖記十卷  
 小經要注記八卷  
 同切紙二通  
 切紙拾遺數通  
 切紙見聞  
 曼陀羅疏四十八卷  
 徹選抄本末口決集二卷  
 三種劫量圖記一卷  
 論義藏等  
 已上西譽上人作  
 玄文深義抄  
 論藏藏二百題

五重決國譽上人御口筆  
同五重抄  
已上聽譽和尚作  
指南目錄抄  
本云石淨土一部暨學校合之分大概注已畢  
此外秘書等數多有之者也矣  
淨土章疏畧頌  
三經一論天竺說  
註安樂集各二卷  
五部九卷大師造  
如次佛語天親造  
如次曇鸞西何作  
群疑七卷千福造  
已上二十農且疏  
性立十因全一卷  
選撰一卷開本末  
已上三本日本鈔  
要集三卷開六卷  
次如惠心永觀作  
高祖源空上人說  
三國合論三十卷  
黑付世九丁也  
後見校合可致者也  
松与了生(花押)  
寛永二十一年四月一吉日

(41才)

(40ウ)

五重決<sup>(ツツ)</sup>國譽上人御口筆  
同五重抄  
已上聽譽和尚作  
指南目錄抄  
本云石淨土一部暨學校合之分大概注已畢  
此外秘書等數多有之者也矣  
淨土章疏畧頌  
三經一論天竺說  
註安樂集各二卷  
五部九卷大師造  
如次佛語天親造  
如次曇鸞西何作  
群疑七卷千福造  
已上二十農且疏  
性生十因全一卷  
選撰一卷開本末  
已上三本日本鈔  
要集三卷開六卷  
次如惠心永觀作  
高祖源空上人說  
三國合論三十卷  
黒付世九丁也  
雖為惡筆執心故書写早る  
後見校合可致者也  
松与了生(花押)  
寛永二十一年四月一吉日